



やまび

Vol.61

- 第31回通常総代会 2～3
- 総代名簿 4
- 組合の活動あれこれ 5～7
- 「森の仕事は、人の仕事」 8～9
- 新入職員紹介 10
- クマの出没に気を付けよう／森クイズ 11
- 組合からのお知らせ 12



長門小学校 しいたけ駒打ち体験の様子
(組合職員が指導を行いました)

第31回 通常総代会 開催

三月二十五日、第三十一回通常総代会が上小森林センターにおいて開催されました。総代総数二〇〇人中一八一名（内委任状六十八名）が出席し、議長には東御地区の塩崎和男氏が就任し、議事が進められ、提出議案全てが原案通り可決承認されました。

また、任期満了に伴う役員選任では、上田地区選出の白鳥武彦理事と山寄博康理事が退任され、同地区の深町比呂志理事、原田孝彦理事が新たに選任されました。

■ 組合長挨拶 (要旨)

本日は第三十一回通常総代会に、御来賓の皆さま、総代の皆さま、公私共に御多忙の中、御出席



組合長あいさつ

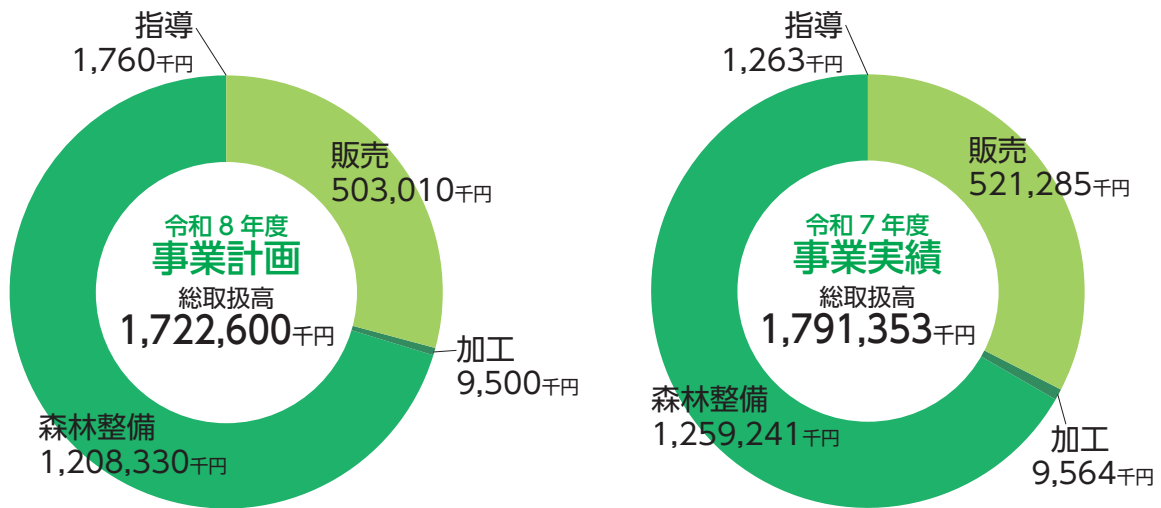
をいただきまして、誠にありがとうございます。
不安定な国際情勢が続き、燃料価格の高騰により燃料費が上昇し、さらにナフサを原材料とする物価の上昇も懸念されるなど、私たちの生活にも大きな影響が及んでおります。遠くの出来事が身近な問題となる時代であり、先の見通しが難しい状況となっております。

このような中、当森林組合では令和七年度、戦後に植栽され収穫期を迎えている森林資源を活用し、国が掲げる林業の成長産業化及び「伐つて、植えて、手入れをする」循環型林業の推進に取り組み、森林の持つ公益的機能を十分に発揮させ、次世代へ引き継ぐべき森林づくりを最重要課題として事業を進めてまいりました。その結果、事業実績は、伐採面積一四九ヘクタール、搬出材積四万四千立方メートル、植栽面積一一七ヘクタール、植栽苗木二十六万本、事業取扱高十七億九千万円、当期末処分剰余金三千四百万円となりました。

また、地域の皆さまとの交流を目的として、本所における春の「植木まつり」や、五会場で延べ六千人の来場があった暮れの「しんりん祭」を開

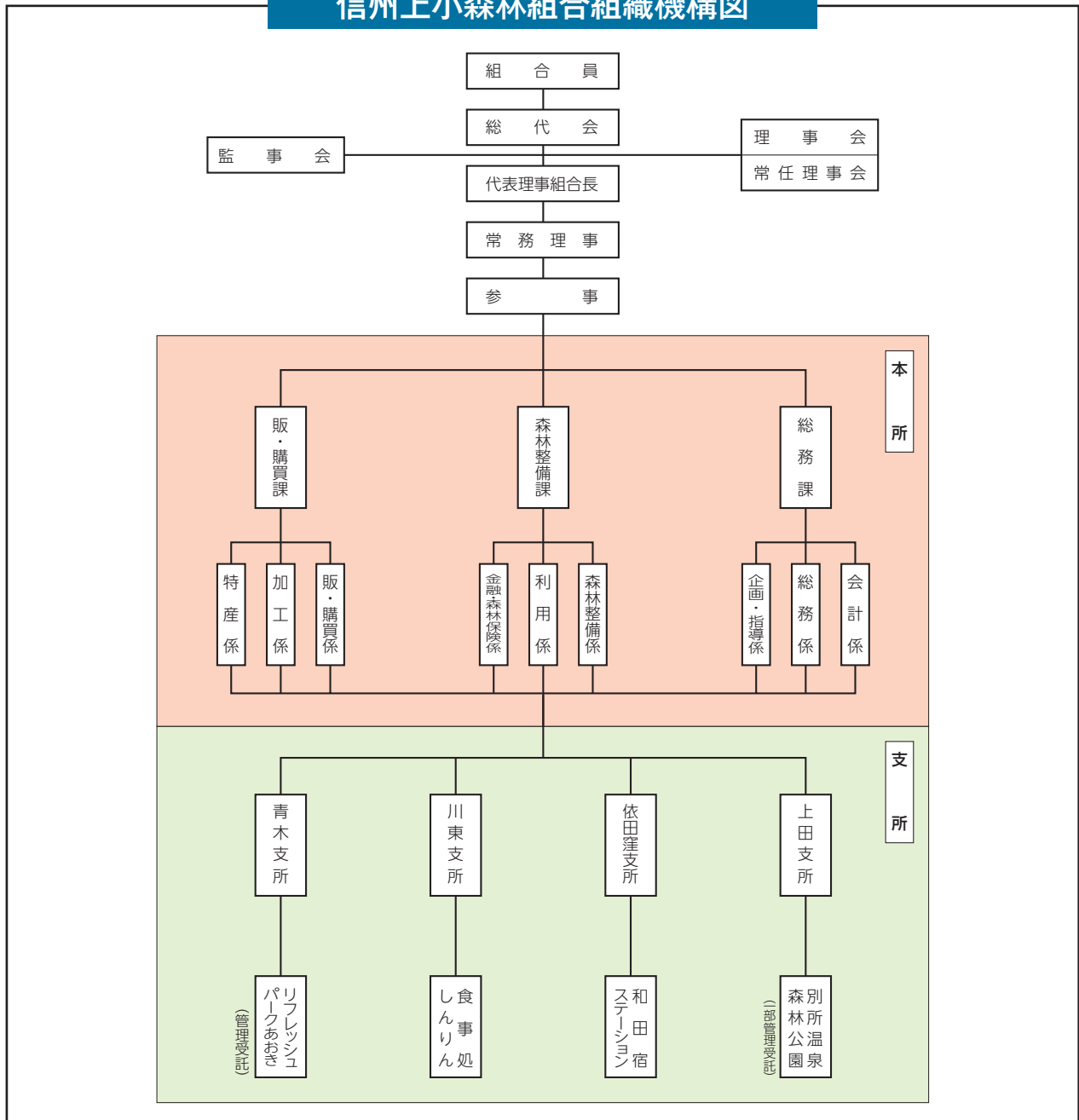
催し、組合員の皆さまや地域の方々との連携強化を図ることができました。これもひとえに、組合員の皆さま、市町村をはじめ関係各位の格別のご理解とご協力の賜物であり、心より御礼申し上げます。
令和八年度事業につきましては、先行き不透明な状況ではありますが、市町村・県・国の施策に沿いながら、「森林づくりを通じて組合員と地域に貢献する」という基本方針のもと、安全作業を最優先に、計画達成に努めてまいります。





令和8年5月より組織の機構改革をし、下図の体制にて業務を行っております。よろしくお願ひします。

信州上小森林組合組織機構図



新 総 代 名 簿

総代改選が行われ、200名の皆さんが総代に選ばれました。3年間よろしくお願いたします。

上 田	林 敏昭	西川 三男	会田晃一郎	林 益雄	上原 元子	坂田 信	47名
	浜 文昭	保科 昇寿	吉澤 義徳	山下 哲	山極 茂幸	竹内 幸雄	
	竹下 義孝	吉田 勉	滝沢 淳	櫻井 孝	斎藤 敦志	柏原 公夫	
	福沢 拓美	遠藤 稔	小林 剛	加々井洋一	母袋 創一	山崎 博久	
	中曽根新治	藤澤 庄司	田中 敦男	湯本 幸一	平林 徳雄	大井 晃	
	柳沢 憲昭	上野 良幸	佐藤 和成	戸兵 勝	柄澤 豊彦	柳澤 正敏	
	西澤 正樹	清水 住夫	荒井 純平	滝澤 道男	小山 泰英	石井 正夫	
	南波 勲	水沢 之男	大井 定雄	酒井 隆	石井 峰雄		
東御	中澤 茂幸	大木 勇人	小林 義孝	柳沢 昌美	矢嶋 武典	倉側 信秋	7名
	塩崎 和男						
丸 子	岩木 孝男	黒岩 元隆	小宮山益教	滝沢 治喜	今井 利樹	我山 龍一	30名
	小山田秀士	小平 倉雄	中村 琢磨	滝澤 淳	依田 秀敏	高井 浩臣	
	竹花 文和	金井 清	春原 旦浩	上野 博文	滝沢 宏男	久保田秀夫	
	滝澤 清人	高木 春男	北澤 茂幸	北沢 正利	堀内 茂男	小林 幸雄	
	小井土 恒	下村 信夫	小林 恒雄	小林 郁夫	川合 敏光	藤原 和夫	
長 門	原田 実	相馬 彰	伊藤 賢治	小林 隆幸	柳沢 義雄	児玉 隆一	25名
	児玉 和徳	松山 俊紀	伊藤 元美	小野澤信男	柳沢 強	清水 健一	
	西城 善之	白井 幸重	清水 英二	丸山 清孝	羽毛田裕太	米沢 俊昭	
	尾美 賢哉	清水 勝成	両角 桂	須藤 純男	城内 利雄	宮阪 和幸	
	尾美 茂						
真 田	峯村 信一	酒井 佐吉	大久保寿広	伝田 進	古畑 文彦	唐沢 利彦	36名
	塩沢 満孝	堀内 賢一	倉島 一隆	永井 進	久保 一彦	石塚 剛	
	松尾 賢二	坂口 啓吉	滝沢 芳行	柳沢 章雄	田中 努	山岸 正和	
	北沢 功	山宮 龍雄	藤沢 英雄	武捨 宏正	武捨 玲子	橋詰 邦男	
	山宮 幸政	海瀬 秀樹	橋詰 真一	柳澤 薫	佐藤 政道	西牧 美二	
	堀内 雅広	堀内富志雄	半田 久夫	半田 拓夫	清水 良彦	堀内 教光	
武 石	滝沢 元明	下城 億司	宮下 政登	宮下 一博	上原 正次	斉藤 美夏	18名
	滝澤甲子男	滝沢 直明	松崎 昭	金井 秀尚	金井 建	北川 茂	
	小林 繁雄	柳沢 武夫	両角美喜男	斉藤 幸善	大平 将人	北沢 昇行	
和 田	城下 仁	相馬 文雄	羽田 久至	工藤 秀雄	遠藤 秀和	遠藤 広一	13名
	掛野 正治	長井 敏治	伊東 和也	龍野 伸之	工藤 圭一	佐藤 勝太	
	堀内 欣作						
青 木	加藤 一裕	早川 政男	関 政雄	胡桃澤 弘幸	宮入 圭一	高柳 則男	24名
	上原 忠司	尾和 義泰	山本 良司	尾和 敏弘	召田 浄光	東川日出夫	
	沓掛 幸三	堀内 剛	増田 伸夫	工藤 浩明	沓掛 太郎	丸山 晃	
	川田 久夫	片山 正一	栗林 宏光	小林 達登	小林 正博	古見 茂	

役員・総代とも任期：令和8年3月～令和11年3月（敬称略）

組合の活動 あれこれ

しんりん祭

11月22日(土)～12月14日(日)

5会場でしんりん祭が開催されました。長芋などの野菜やみかん、林業資材などを多数ご用意したしんりん祭は多くのお客様にご来場いただきました。上田・青木会場では林業重機の実演と、運転席への搭乗体験会が行われ、子供から大人まで大変好評でした。



青木支所での搭乗体験

新年安全祈願祭

1月5日(月)

新年の仕事始めに併せ、職員全員で労働安全祈願を行いました。

今年度も、全職員の中から選ばれた安全スローガンを掲げ、安全意識の向上を図り、全職員一同無事故・無災害を目指します。



令和8年度 安全スローガン

作業前 余裕をもって安全対策
危険を予知して無災害

(販・購買課 召田 祐治)



コンプライアンス研修会

1月5日(月)

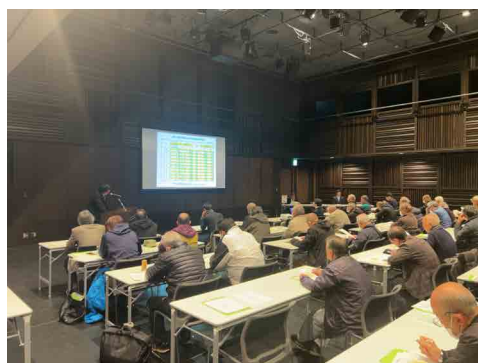
安全祈願祭終了後、コンプライアンス研修会を行いました。不正を実行させない組織づくりを学び、法令順守の当事者意識を持つことの重要性を改めて感じました。学んだことを実践し、より良い組織となるよう努力してまいります。

共有林等役員研修会/にぎやかな森づくりフォーラム 2026

(場所：サントミュージゼ)

2月2日(月)

午前 地域林業の活性化と森林整備の円滑な実施を図ることを目的とした「共有林等役員研修会」を開催し、66名が参加しました。上田地域振興局林務課の山中様、東信木材センターの馬場様、長野県森林組合連合会の相場様に森林づくりの補助金制度についてや、木材価格の動向などについて講師を務めていただきました。



午後 「にぎやかな森づくりフォーラム 2026」では、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 小泉様に「シカをマネジメントする」、特定非営利活動法人ピッキオ 玉谷様に「クマも棲む信州で暮らすということ～存在を感じつつ距離を保つ～」という題材で公演をしていただきました。

パネルディスカッションでは、「増えすぎたシカ、出没するクマ～私たちはどう向き合う?～」の議題でディスカッションが行われました。



決算監査

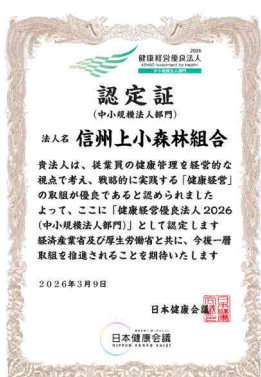
2月24日(火)

監事3名による令和7年度事業の決算監査が行われました。役職員の職務執行状況、財務諸表等について、適正に処理されていることが認められました。

理事会

3月9日(月)

9日の理事会では、令和7年度実績と令和8年度計画等について議案審議が行われ、全ての議案が承認されました。



健康経営優良法人2026(中小規模法人部門)を取得しました!

健康経営優良法人とは、経済産業省の認定制度です。積極的な健康活動に取り組んでいる企業(法人)に対して、毎年認定を行っています。

職員の健康管理を経営戦略の一つとして考え、職員一人ひとりが心身ともに健康で、安心して働ける職場づくりを目指し、働きやすい職場環境の充実に努めてまいります。

組合ホームページが リニューアルしました!

最新情報を随時更新しますので、是非ご覧ください。

ホームページ URL : <https://jforest.jp>



植木まつり

4月11日(土)～5月17日(日)

春の恒例行事、植木まつりを開催しました。良質で安価な庭木や花などを豊富に取り揃え、販売するとともに、配達・植え込みなどにも対応いたしました。

植木まつりの期間中は土日祝も大勢の方にご来場いただきありがとうございました。



しいたけ駒打ち体験

塩田西小・武石小 4月30日(木)
長門小 5月15日(金)

塩田西小学校・武石小学校・長門小学校でしいたけの駒打ち体験を実施しました。子供達は地元生産者さんから話を聞いた後、原木にドリルで穴をあけ、駒を打つ所まで体験し、楽しそうに作業を進めていました。



←塩田西小学校



長門小学校→



←武石小学校

植樹体験

5月12日(火)

東京から有明西学園の中学2年生112名が、植樹体験のため長和町を訪れました。組合職員による作業内容の説明の後、植樹用の道具を使い、約0.3haに600本のカラマツ苗を植樹しました。



立派なカラマツの森になるといいね😊

森の仕事は、人の仕事



上田市地域おこし協力隊

井上 研太郎 さん

埼玉県川越市から移住

令和7年4月より、林業の分野で「上田市地域おこし協力隊」として活動する井上研太郎さん。日頃は当組合で林業の経験を積みながら、日々山の現場で森林整備や伐採作業に携わり、林業の魅力発信に取り組んでいます。そうした活動を通じて感じた林業の難しさや面白さ、現場で働く人たちの想いなどをお聞きしました。

長野県上田市森林整備課の地域おこし協力隊に携わり、日々現場に立ちながら林業という仕事に向き合っています。山に入るたびに感じるのは、この仕事は自然の中で「判断」を積み重ねていく仕事だということです。

木を伐る、倒す、運ぶ。言葉にすればシンプルですが、その一つひとつの工程の中に、危険と隣



り合わせの瞬間があります。ほんのわずかな判断の違いが、大きな事故につながる可能性もある。そうした緊張感の中で、常に考え続けることが求められます。自然を相手にするということは、思い通りにならないということでもあり、そこには常に「怖さ」が存在しています。ただその怖さは、人間関係の中で感じるものとは少し違い、もっとシンプルで、誤魔化しのきかないものです。

林業には、明確な正解や不正解がありません。

同じ山でも条件が変われば判断は変わり、どの選択が最善だったのかは、その場では分からないことも多くあります。数年後、あるいは数十年後に初めて見えてくる結果もある。それでも、人が森に関わる

以上、その責任から逃げることはできません。だからこそ、この仕事は「考え続けること」そのものが本質なのだと感じています。

また林業は、自然だけで完結するものではなく、人の生活や経済と密接に結びついた産業でもあります。木を伐るといふ行為の裏側には、資源としての価値や流通、利益といった現実があり、森とお金のバランスの中で日々判断がなされています。その判断は人によって異なり、唯一の正解はありません。自然と向き合いながらも、同時に人の意思や欲とも向き合っている。そこにこの仕事の難しさがあり、同時に面白さでもあり感じています。

現在は現場での作業と並行して、林業の魅力や実情を伝える発信にも取り組んでいます。上小林業振興会のSNS「森に生きるひと」では、日々の現場や、そこで働く人の声を届けています。外からこの世界に入った自分だからこそ見える視点を大切にしながら、「人」に焦点を当てた発信を



@MORI_NI_IKIRU_HITO

上小林業振興会

続けています。

また、地元の木材を活用した「年輪版画」という作品づくりにも取り組んでいます。木がこれまで生きてきた時間を刻んだ年輪をそのまま版として使い、一枚一枚異なる表情を持つ作品です。この活動は「燦燦輪廻（さんさんりんね）」という屋号のもと、地産地消の価値を伝える取り組みとして広がっていきたくと考えています。思い出の詰まった木を、やむを得ず伐らなければならない場面もあります。そんな時、その木を版画という形で残し、暮らしの中に飾れる作品として届けることができたらと考えています。伐って終わりではなく、その先にどんな価値を生み出せるのか。木と人との関係を、別の形で見つめ直す試みでもあります。



年輪版画の作品

これからの林業を考えたとき、相手は森でありながら、その本質は「人の産業」であると感じています。私たちの生活や欲求によって成り立っている以上、その欲とどう向き合い、どうコ

ントロールしていくかが重要になります。技術の継承だけでなく、自分なりの軸を持ち、状況の中で判断していける人が育っていくこと。それがこれからの林業にとって欠かせない要素ではないかと感じています。

現場で日々感じるのは、先輩方が積み重ねてきた技術と経験の重みです。当たり前のように行われている作業の一つひとつに、多くの知識と判断が詰まっている。その価値は、外からこの世界に入った自分にとって非常に大きなものに映っています。そして同時に、それらはもつと外に伝わっていくべきものだと感じています。

林業は決して楽な仕事ではありません。しかしその中には、自然と向き合い、人と向き合い、自分自身の判断と向き合い続ける面白さがあります。正解がないからこそ考え続ける。その積み重ねの中に、この仕事の価値があるのではないかと感じています。

仲間を失うことが当たり前前になつては



いけない。人生を懸けて働ける仕事だからこそ、人としっかり向き合い、より良い職場環境をつくり、より良い森へと繋げていく必要があると感じています。事故や怪我を減らすことに真剣に向き合いながら、現状に満足せず、新しいことにも挑戦していく。理想論に聞こえるかもしれませんが、そうした積み重ねの先にこそ、これからの森林組合の姿があると信じています。



4人の新しい仲間が加わりました! 皆様どうぞよろしくお願ひします!

令和7年12月15日付

育成班 技能職員 ^{むら やま} **村山** ^{しん すけ} **晋介**



前職ではバルブメーカーで設計をしておりました。自然の中で体を使う仕事をしたいと考え、この職を選びました。山での仕事は、危険と隣り合わせだと感じる事が多く、体力を使う仕事です。しかし、大自然の中で仕事をするのは楽しく感じます。一日でも早く一人前になれるよう努力してまいります。よろしくお願ひいたします。

令和8年4月1日付

育成班 技能職員 ^{こ ばやし} **小林** ^{もう せ} **望世**



林業は全くの未経験ですが、焦らず、慢心せずに一人前になれるよう一生懸命に取り組みます。山での仕事は、不安定な足場や急斜面の作業など体力的にきついと思うこともあります。しかし、自然の中で働けるため、ストレスがとても少なく、一仕事終えた後の達成感が大きいです。

令和8年4月1日付

育成班 技能職員 ^{なり た} **成田** ^{かおる} **薫**



林業は初めての経験ですが、将来林業のプロとして活躍できるよう日々学んでいきます。私は自然の中で働きたいと考えていたので念願の仕事ができてうれしく思っています。わからないことばかりで不安は多いですが、先輩方の姿を見て前向きに取り組んでいきたいです。

令和8年4月1日付

育成班 技能職員 ^{やま ざき} **山崎** ^{しょう た} **翔太**



今までとは異なる林業の業界に新しく入りました。山での仕事は、以前の仕事とは違い、外で作業をするので、天気によって大変さが変わりますが、天気の良い日は汗をかいてとても気持ちよく仕事できて最高です。初めての事ばかりですが、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひいたします。

クマの出没に気を付けよう

近年、ドングリの不作による食料不足や、気候変動などによって、人とクマとの遭遇が増えています。クマとばったり遭遇しないようにラジオや熊鈴など音が鳴るものを携帯しましょう。また、遭遇してしまったときに備えて熊撃退スプレーの携帯も推奨されています。

当組合でも熊関連グッズを取り扱っていますので是非ご利用ください。



森林組合購買

熊撃退スプレー

カウンターアソルト
CA230
噴射距離目安 9m
連続噴射時間約 7秒



18,150円

カウンターアソルト
ストロンガー CA290
噴射距離目安 12m
連続噴射時間約 8秒



22,550円

熊よけ鈴

BEAR BELL 森の鈴 (小)
ワンタッチ消音機能付き



2,640円

BEAR BELL 森の鈴 Pico

ワンタッチ消音機能付き
カバー付きでバックに接触しても響く



1,760円

※記載品の他にも多数の品揃えがございます。詳しくは最寄りの支所までお問い合わせください。
※価格は変動することがあります。(価格はすべて税込です。)

森のクイズ

正解された方の中から、抽選で**3名様**に、
食事処「しんりん」1,000円分の御食事券をプレゼントします！

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

問題 ※①～③から正解の番号を選択してください。

Q 長野県に主に生息しているクマの種類は何でしょうか。

- A**
- ① ヒグマ
 - ② アルクマ
 - ③ ツキノワグマ



応募方法【締切】令和8年7月31日(消印有効)

郵便はがき に下記内容を必ず明記し、ご応募ください。

表	裏
〒 386-1212 上田市富士山 2464-226 信州上小森林組合 やまびこ編集部 宛	①クイズの答え ②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号 ③組合、広報誌へのご意見・ご感想などご記入下さい。

※なお、いただいたご意見ご感想を本誌に掲載させていただく場合があります。不可な方はその旨もご記入ください。

🎁 前号(60号)の答えは「①令和8年3月」/応募総数18通(正解18通)。ご応募ありがとうございました。

組合からの お知らせ

●職員動き

【採用】

十二月十五日付

技能職員

村山 晋介 (育成班付)

四月一日付

技能職員

小林 望世 (育成班付)

成田 薫 (育成班付)

山崎 翔太 (育成班付)

【退職】

十一月三十日付

技能職員

中山 晃平 (川東支所)

十二月二十四日付

嘱託職員

佐藤 美枝子 (上田支所)

十二月三十一日付

技能職員

高藤 祐也 (育成班)

四月三十日付

職員

吉池 和 (業務課主任)

【異動】

五月一日付

販・購買課長

高井 紀和 (業務課長)

森林整備課兼販・購買課書記

川村 若菜 (業務課書記)

販・購買課 嘱託職員

召田 祐治 (業務課兼青木支所)

森林整備課長兼上田支所長

中村 武志 (上田支所長)

森林整備課兼上田支所主任

後藤 輝明 (上田支所主任)

森林整備課兼上田支所書記

中山 真美 (上田支所書記)

森林整備課兼上田支所技手

尾川 聡 (上田支所技手)

森林整備課兼上田支所技手

澁谷 一樹 (業務課技手)

総務課兼森林整備課書記

塩入 和子 (総務課兼業務課書記)

青木支所技手

北村 拓人 (業務課技手)

●組合員の名義変更をお願いいたします

相続などにより名義変更をする場合は、「組合員の死亡届と相続人の加入申込書」等での手続きが必要です。また、住所を変更した場合は「出資者住所変更届」の手続きが必要です。ご理解ご協力をお願いいたします。手続き・書類等に関するお問い合わせは、お近くの支所までご連絡ください。

ご意見・ご相談はお気軽にどうぞ

山林の手入れ等のご相談やお悩み、その他組合に関するご意見・ご質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



組合ホームページ

食事処しんりんではInstagramを更新しています。ぜひご覧ください。



あ と が き

今年度は三年に一度の組合役員・総代・参与委員の改選の年でした。就任された皆様、どうぞよろしくお願いいたします。今年の夏は猛暑、秋は残暑が厳しくなるようです。熱中症には十分注意して過ごしてください。

■信州上小森林組合

本所・上田支所 / ☎ 0268-39-8522 ・ FAX0268-39-8523
 依田窪支所 / ☎ 0268-68-2172 ・ FAX0268-68-2056
 川東支所 / ☎ 0268-72-3703 ・ FAX0268-72-3881
 青木支所 / ☎ 0268-49-2021 ・ FAX0268-49-2641

〒 386-1212
 〒 386-0603
 〒 386-2201
 〒 386-1601

長野県上田市富士山 2464-226
 長野県小県郡長和町古町 2457-1
 長野県上田市真田町長 7178-1
 長野県小県郡青木村大字田沢 22